

Rotary



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2016~2017 年度 高山中央 RC 会長テーマ

「情熱と友情そして・・・永遠に」



人類に
奉仕する
ロータリー

◆会長 田中 雅昭 ◆幹事 中田 学 ◆会報委員長 津田 久嗣 ◆会報担当 津田 久嗣

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30~

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	会長支持率
本日 1113 回	60 名	59 名	47 名	-	79.66%
前々回 1111 回	60 名	59 名	46 名	1 名	79.66%

<点 鐘> 会長 田中 雅昭
<ロータリーソング> それでこそロータリー
<四つのテスト>

<会長の時間> 会長 田中 雅昭

皆さんこんにちは。
いよいよ師走に入り慌ただしい日々が続きますが、お体には十分留意されますようお願いいたします。



本日は年次総会です。次年度の新役員さんの承認等の議事がございますので、後程協議を宜しくお願いします。

先般「高山祭の屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。心よりお慶び申し上げます。いつまでも文化・歴史を大切に守り続けて行きましょう。

さて、会長の時間も移動例会などを抜いて本日で 17 回目となります。さまざまな場面や場所でお話をさせて頂く中、いかに日本語が繊細で表現方法が難しいのかを今改めて感じております。

たとえば

1. 「なになにをさせて頂きます」を「なになにをさして頂きます」
「せ」が常に「し」に代わってしまう
2. 「私は納豆を食べられます」を「私は納豆を食べれます」
「ら」抜き言葉
3. 「帰らせて頂きます」を「帰らさせて頂きます」
「さ」入れ言葉
4. 「絵が描ける」を「絵が掛けれる」
「れ」足し言葉（意味が変わってしまう）

日本語の乱れは文化の乱れ、国家の乱れと言われてます。日本語の詫び寂びを今一度感じ取り、更に勉強し「あなたは素敵な話し方をされますね」と言われるよう努力していきたいと思っております。

さて会長支持率や いかに！！

<幹事報告> 幹事 中田 学

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より

- ・ R I 日本事務局財団室ニュース
- ・ 年末年始休暇について 12/28~1/5 まで
(地区事務所・ガバナーエレクト事務所同様)

○ロータリーの友事務所より

- ・ 報告書

○高山西ロータリークラブより

- ・ 例会変更のお知らせ
12 月 23 日 (金) 休会 法定休日
12 月 30 日 (金) 休会 定款により
1 月 6 日 (金) 休会 定款により
1 月 13 日 (金) →14 日 (土) 18:00~
新年家族例会 宝生閣

<高山市青少年育成市民会議より>

- ・ 「第 33 回家族スナップ写真展」 &
「第 25 回家族の日図画展」開催と表彰について
12/9~12/11 まで

<比国育英会バギオ基金より>

- ・ 2015 年度事業報告書と基金への寄付のお願い

<年次総会> 次年度理事役員表

会 長	中田 専太郎
会長エレクト	高原 清人
副 会 長	坂之上 健一
幹 事	谷口 欣也
会 計	堀口 裕之
会場監督	植木 眞吾
直前会長	田中 雅昭

クラブ管理運営委員会統括理事	田中 雅昭
クラブ奉仕委員会統括理事	坂之上 健一
職業奉仕委員会統括理事	松之木 映一
奉仕プロジェクト委員会統括理事	山本 辰男
会員基盤増強維持委員会統括理事	津田 久嗣
青少年奉仕委員会統括理事	熊崎 元康
副 幹 事	岩本 正樹
直 前 幹 事	中田 学

＜ガバナーの時間＞

劔田 廣喜 様

ガバナーにとりまして最大の行事であります地区大会がご来賓及び沢山のロータリアンのご参加とご支援によりまして無事に終了する事ができました。心より感謝を申し上げます。

地区内外のロータリアンから、高い評価をしていただきましたが、それはガバナーに対してではございません。地区大会実行委員会とホストの高山中央ロータリークラブの会員の全員に対する賞賛であります。



特に中央ロータリークラブの仲間はシニアから新入会員までが一体になり大会に取り組んでくれました。今まで気が付かなかったわけではありませんがロータリークラブと言う組織のエネルギー・連帯感・結束・友情を大変強く感じました。クラブが一体になるとそこには新鮮で爽やかな風が吹き、活力があふれてきます。

ご来賓の方々からいただいたお褒めの言葉は、歓迎ともてなしが最高であったと言うコメントを多くいただきました。ガバナーは主催者でございましたので、ただ壇上に居ただけであります。

この度の地区大会が第 2630 地区のベンチ・マークとなったことは、本当に嬉しい限りであります。

就任から 5 ヶ月本当に慌ただしい日々を過ごしてまいりましたが、公式訪問ではそれぞれのクラブで暖かく迎えていただき、会長幹事様とも親しく懇談をさせていただきました。また、IM では各ガバナー補佐の皆様素晴らしいリーダーシップを発揮していただき感謝申し上げます。これらの事は、私にとりまして一生忘れることのできない思い出となり、この役割を与えて戴いたことに心より感謝申し上げます。

公式訪問を終えて地区の課題は会員基盤の強化、特に若返りだと考えます。会員基盤を強化するには、各クラブが従来のクラブ運営方法やコストなどの基礎的な条件を見直し、若年層の人々が入会出来るように「クラブの体質」そのものを徐々にでも変えて行かなければクラブ会員の高齢化が進む一方で、会員の若返り、世代交代が停滞します。各クラブの「インフラ整備」なくして会員増強はあり得ない時代になっていると思います。

来年から始まる各グループの増強セミナーにおいて、対策、ソリューションを考えていきますが、まずは、高齢化を嘆く前に、歳をとっても若い心と柔軟な体を心掛けることが寛容と存じます。

それでは、ロータリーの創立の歴史を振り返りながら、地区の役割、ガバナーの役割を考えていきたいと思えます。ロータリーの出発は親睦と相互扶助が目的です、親睦とは会員同士が兄弟親戚の付き合いをすることです。相互扶助とは会員同士が商売を助け合う事です。

当時のシカゴ情勢は不安定で、ビジネスで成功した者が勝ち組となる時代でした。その時代にマッチしたロータリーの方針、方向性によって設立間もないロータリーは 9 ヶ月後に 30 人となり 1909 年には 300 人まで会員を増やしていきます。1906 年ドナルド・カーター（特許弁護士）に入会を勧めたところ、カーターは「**職業を持って社会で生活している以上、職業を通じて社会に貢献することが自分が存在する証になるのであって、自分たちだけの利益にこだわって、社会的に何もしない団体に将来性も魅力もない**」と忠告しました。

これを聞いたポール・ハリスは大いに反省し、世の為、人の為のことも考えようというクラブに変えなければなら

ないと考えました。

そこで、世の為、人の為のことを考えるクラブであるならば、シカゴ市だけでなく、全米の都市に存在する方が望ましいという拡大の考え方が生まれました。しかし、シカゴクラブの「親睦・互恵」派から猛反発を受けシカゴクラブは分裂の危機を迎えます。「親睦・互恵」派と「奉仕・拡大」派の論争の中から、いかにしてクラブの親睦を保つかという苦肉の策として生れたのが、国際ロータリー（RI）の前身であります全米ロータリー連合会であります。

元来、クラブ群を管理する目的で作られた組織ではないため管理能力は備わっておらず、その弱点を突かれた形で、1914 年にイギリスとアイルランドのロータリー地域連合体 RIBI の前身 BARC（British Association of Rotary）の設立によるロータリーの地域化が進められました。中間管理組織を認めることによって、連合会の機能低下とロータリー思想の多元化を恐れた連合会は、翌 1915 年、各クラブを RI 会長の直接監督下に置きと共に、管理を容易にするために地区制度を敷いてガバナーを置き、更に急速なクラブ拡大に対応して、急遽、管理体制を整えていかざるを得ませんでした。また、それまでバラバラに行われていた各クラブの管理運営を統一するために、標準クラブ定款および模範細則が採用されるとともに、国際ロータリークラブ連合会の目的及びロータリークラブの一部が改正されたのです。

1922 年、連合会が RI に改組されたことを機会に、その権限が大幅に強化されました。それまでは、奉仕の理念の追求、拡大、クラブ間の連絡調整の機能しか与えられなかった RI に直接監督権が付与され、それに伴って全世界のクラブの標準化が試みられ、同年 6 月 5 日以降に設立されたクラブは、RI によって定められた標準クラブ定款を採用することが義務付けられました。その後、ロータリーは益々国境を越え世界各地に広がり、現在 200 以上の国・地域に 35000 余りのクラブが出来るようになったのです。従って、地区とは各クラブがロータリーとして一つの方向性を管理するために、便宜的に纏められたクラブ群であり、ガバナーと言うのは、その地区唯一の国際ロータリーの役員という事になります。

2016 年の規定審議会の最大のトピックスは、「柔軟性」という「例外規定」を、私たちのクラブ定款の「例会と出席」「会員身分」に関する条項に認めたことです。

つまりクラブ定款のその条項に従わない細則を、クラブ独自で設定することを認めたのです。つまりクラブに柔軟性を認めて、幅広い自己裁量権、自治権の拡大を認めたのです。このことで、クラブは大幅な自治権をもち、半独立組織となり、RI は連邦政府に変貌したのです。中央集権から地方分権への転換であり、1915 年 RI が地区制を引いてクラブを直轄管理する体制から、RIBI のような中間管理的組織を置く間接的管理制度に変換した、それこそまさに RI 創設以来の大変革なのです。

このことは変貌する世界情勢の中であって、RI が生き残りをかけた自己防衛策でもあり、クラブへの直接管理権を大幅に放棄した RI の弱体化、衰退への序曲であります。逆にクラブにとっては RI からの束縛から離れて、自由を獲得した喜ぶべき事態というべきかもしれません。

細則次第では、例会開催を月 2 回として、出席しなくても退会にならないとすることも出来るし、逆に厳しくして、例会開催を週 2 回として、メーキャップもしないで連続 4 回以上欠席した場合は、クラブ理事会は過半数を以って退会処分にする事だってできるのです。

この度の規定審議会を受けて、クラブ細則を通じてどのようなクラブづくりをするかが厳しく求められ、クラブの個性が顕著になって、ロータリークラブに入会するのではなく、どのクラブを選ぶかが問われることになるのです。

皆さんのようにして各人の意識を変革し、せっかく与えられたクラブの大幅な自治権を利用して、どのような個性ある高山中央ロータリークラブを創り上げようと思えますか。それが今問われているのです。



< 12月のお祝い >

< 会員誕生日 >
該当者なし



お誕生日を祝して

< 夫人誕生日 >

熊崎 元康	陽子	12月 1日
中田専太郎	和子	12月 9日
渡辺 修治	珠恵	12月14日
下田 徳彦	尚子	12月16日
津田 久嗣	恵美子	12月19日
大保木正博	須美代	12月23日

< 結婚記念日 >

高殿 尚 H15年12月 6日

おめでとうございます

< ニコニコBOX >

祝!高山祭の屋台行事がユネスコ無形文化遺産に登録されました。誠におめでとうございます。また、清水さん、山本さん共々おめでとうございます。ニコニコよろしく願い致します。
田中 雅昭

愚息が結婚しました。皆様ありがとうございました。
清水 幸平

11月の妻の誕生日にはきれい花をありがとうございました。
松之木 映一

私の還暦を祝う会を開いて頂きありがとうございました。錦3丁目での刺激的な夜、8時間におよぶゴルフコンペ、楽しかったです。感謝を込めてニコニコへ。植木 眞吾

植木さんの還暦ゴルフで優勝させて頂きましたのでニコニコへ。
岩本 正樹

植木さん、坂之上さん 還暦おめでとうございます。思わぬ返金がありましたのでニコニコへ。
伊藤 正隆

植木さん、坂之上さん 還暦おめでとうございます。昨日はありがとうございました。来年はいよいよ田中会長の番です。今から貯金して準備の程をお願いします。来年は少しは練習して周先生に追いつかれない様精進してトリプルにならず、せめてダブルのゴルフをしたいと思います。
高木 純

昨日の還暦コンペで準優勝することが出来ましたのでニコニコ強化月間でもありますので少しですがニコニコへ。
堀口 裕之

今日も無事な事に感謝して。
三枝 祥一

いつもお世話になっております。今日は早退させて頂きますのでニコニコへ。
古橋 ひと実